

日本植生史学会ニュースレター

No.2 April 10, 2003

第 21 回日本植生史学会談話会のご案内

学会ニュース： 名誉会員推薦理由／選挙のお知らせ／第 17 回幹事会議事要録
ホームページ開設のお知らせ

第 21 回日本植生史学会談話会のご案内

● テーマ：照葉樹林の植生観察会

照葉樹林は晩氷期以降の急激な温暖化に伴って分布を拡大し、東北地方の沿岸域までひろがりました。しかし人類の活動により、現在では社寺林として見られるのみになり、本来の多様性を残した大規模な自然林はあまり残っていません。

宮崎県東諸県郡綾町には「綾の照葉樹林」として著名な大面積の照葉樹林が残されており、特に綾南川と綾北川に挟まれた大森岳南東稜には良好な自然林があります。谷部にはイチイガシ、コジイ、ハナガガシ、タブノキなどの優占するシイ型照葉樹林が、中腹部から尾根部にかけてはイスノキ、ウラジロガシ、アカガシなどの優占するカシ型照葉樹林が分布しています。今年度の談話会ではこの「綾の照葉樹林」で植生の観察を行います。

講師：河野耕三（宮崎農業高校）・石田弘明（兵庫県立人と自然の博物館）

場所：九州中央山地国定公園綾地区（宮崎県東諸県郡綾町）

日程：5月31日（土）～6月1日（日）

1日目 （予定）	14:00	大吊り橋第1駐車場集合
	14:00-17:00	大吊り橋周辺で観察
	18:00-	夕食
	19:00-	話題提供・懇親会
2日目 （予定）	7:30-	朝食
	8:30-14:00	観察会

宿泊：自然休養村センター 綾川荘（和室、1泊2食 7500円）
宮崎県東諸県郡綾町大字北俣 5539 tel: 0985-77-0070

定員：先着 20名

- * 参加費や日程、集合場所の詳細は、参加者にご連絡いたします。
- * ホームページ：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/historbot>

◆申し込み方法

参加者の氏名、性別、所属、連絡先（あれば e-mail も）、宮崎県内の移動方法（空港からレンタカー、宮崎港から車で、未定、など）を下記までご連絡下さい。

◆申し込み・問い合わせ先

兵庫県立人と自然の博物館 半田久美子
〒669-1546 兵庫県三田市弥生が丘6丁目
E-mail: handa@hitohaku.jp Tel & Fax: 079-559-2017

学会ニュース

● 名誉会員推薦理由(辻 誠一郎)

2002年11月17日の2002年度総会において、棚井敏雅会員、村田 源会員の2氏が会長から名誉会員の推薦を受け承認されました。2氏の推薦理由をここに掲載いたします。

棚井敏雅会員

棚井氏は1923年生まれ、1946年東京大学を卒業後、北海道大学副手、東京大学助手、通産省地質調査所技官を経て、1956年北海道大学助教授に赴任、教授を経て、1987年定年退官された。

棚井氏は、日本の古植物学とくに新生代古植物学の第一人者として研究を推進して来られた。1962年に東京大学に提出した学位論文 "Neogene floral change of Japan" は新第三紀フロラを集大成したもので、その後の研究の基礎を打ち立てた。その後、化石フロラごとのモノグラフ的研究を続けるとともに、北半球の温帯林形成史という視点から、カエデ属、ブナ属、ナンキョクブナ属化石などを取り上げ、それらの系統進化や植物地理について論じてきた。先生の研究は、その基礎になった化石資料を標本として整理保管し、研究結果の再検証や新しい観点の研究の余地を残すということに極めて厳格であった。このような姿勢は本学会の目指すところでもある。本学会に対しては、古植物学、層序学、石炭地質学の立場から、常に暖かい助言と援助を惜しまなかった。先生の植生史学を含む古植物学への貢献と本学会への功績は著しく、ここに棚井氏を名誉会員に推薦する。

村田 源会員

村田氏は1927年生まれ、1947年京都師範学校卒業後、京都師範大学嘱託、京都大学嘱託等を経て、

1952年京都大学助手に赴任、講師を経て、1990年定年退官された。

村田氏は、日本および関連地域の現生のフロアの研究を一貫して推進して来られた。とくに日本の植生およびフロアの固有性や広く北半球における関連性について植物分類・地理学の立場から地道な資料の蓄積を続け、その膨大な資料の蓄積を基礎にした実証的な日本のフロアの成り立ちと由来の研究を展開した。北村四郎氏との原色日本植物図鑑（保育社）はその到達点の一つでもあった。一方、日本の自然環境と植物文化にも強い関心を寄せ、化石資料とを総合しながら日本固有の植物文化の成り立ちにも言及してきた。先生の研究は、その基礎になった植物標本を整理保管し、研究結果の再検証や新たな研究の余地を残すということに極めて厳格であった。本学会に対しては、植物分類・地理学の立場から、常に暖かい助言と援助を惜しまなかった。先生の植生史学を含む植物分類・地理学への貢献と本学会への功績は著しく、ここに村田氏を名誉会員に推薦する。

● 第4期会長・評議員選挙のお知らせ

本年度は会長および評議員の選挙が行われます。告示は4月末、投票締切は6月末を予定しています。皆様の積極的な投票をお願いします（下記議事録参照）。

● 日本植生史学会第17回(2003年度第2回)幹事会議事要録

日時：2003年3月1日（土）14:00～17:30.

場所：千葉県立中央博物館会議室.

出席者：辻会長、江口庶務幹事、齋木会計幹事、樋泉広報・渉外幹事、植村編集委員長、半田行事委員長、清永行事委員.

欠席者：西田編集副委員長、寺田行事副委員長.

1. 報告事項

- a) 会員数は名誉会員2名、正会員359名、学生会員25名の総計386名である。
- b) ホームページを、国立情報学研究所学協会情報サービスをサーバとしてアップロードした。
- c) 第17回福井大会の参加者数は97名（学会員62名：非学会員35名）、懇親会参加者は60名であった。

2. 審議事項

2-1. 庶務

- a) 表彰規定に基づく内規を次回幹事会までに設定する。
- b) 選挙管理委員長を谷川章雄会員とし、第4期会長1名と評議員8名を選出する選挙を規定に従い行なう。今年4月末に告示し、6月末を投票締切りとする。
- c) 第19期日本学術会議会員の推薦にあたり会長を推薦人とした。
- d) 賛助広告規定を設定し、会誌11巻2号に掲載する。
- e) 物故会員への対応に関する内規を設定する。
- f) 賛助会員に関する内規を設定する。

2-2. 会計

- a) 会費値上げ案作成にむけて、幹事会構成員の旅費および編集経費の見積りをたてる。
- b) 海外在住会員の会費納入方法を検討する。

2-3. 広報

- a) ホームページ URL をニューズレター2号や会誌11巻2号に掲載するなどして、会員への周知をはかる。
- b) ホームページに会則、投稿規定を掲載する。また関連学会情報ページを開設する。

2-5. 行事

- a) 清永丈太氏への行事委員の委嘱が承認された。
- b) 第21回談話会の企画案を了承した。
- c) 第18回大会の日程等を確認し、プログラムを検討した。
- d) 第19回大会の開催地は東京を有力候補として企画する。

2-6. 次回の幹事会は2003年6月14日(土)14:00から千葉県立中央博物館にて行なう。

ホームページ開設のお知らせ

予定より大幅に遅れましたが、本学会のホームページが国立情報学研究所 Academic Society Home Village をサーバとして開設されました。今のところ内容もデザインも簡素なものですが、今後徐々にバージョンアップしていく予定です。ご意見・ご感想をお寄せください。また今後の行事予定、幹事会議事録などは当ホームページにて最新情報をお届けします。どうぞご利用ください。

ホームページ URL : <http://wwwsoc.nii.ac.jp/historbot>

おもな内容

行事のご案内：談話会・大会に関する最新情報をお届けします。

学会ニュース：総会・評議員会・幹事会の討議内容などをお知らせします。

『植生史研究』：購入案内・バックナンバーの紹介・投稿案内

日本植生学会のご案内：日本植生史学会のあらまし・入会案内

この他、現在「関連学会情報」のページを準備中です。

耳より情報がありましたら、下記までお知らせください。

なお古いネットスケープバージョンでは正しく表示されない場合があるようです。

不都合がありましたらご連絡ください。

◆ニューズレターとホームページに関するお問い合わせ先

日本植生史学会 広報・渉外幹事 樋泉岳二

〒275-0012 千葉県習志野市本大久保 4-14-10-507

e-mail : ZBN22233@nifty.com Tel : 047-477-6575